

報道関係各位

平成27年10月30日  
公益社団法人 日本農業法人協会

「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選」(WAP100※)  
第1期公募における選定結果について

日本農業法人協会は、「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選」(“WAP100”)第1期公募への応募を受けて厳正な審査を行った結果、別紙1の通り選定しましたのでお知らせします。

WAP100は、女性の活躍推進に取組み、経営上の成果をあげている農業経営体を選定・表彰することにより、農業界における女性活躍をさらに普及・推進します。(平成27年度農林水産省補助事業「輝く女性農業経営者育成事業」)

第1期公募は、平成27年8月3日(月)から9月4日(金)までの期間で行い、全国各地より、様々な農業経営体から応募がありました。このたび外部有識者からなる別紙2「WAP100審査委員会」による審査および現地確認(一部)を経て、14経営体を選定しました。(アドレス：<http://hojin.or.jp/standard/100/>)

現在、第2期公募(11月20日締切)を実施しており、平成27年度は第1期と合わせて概ね30経営体程度を選定する予定です。

選定された経営体は、平成28年3月2日(水)に行う表彰式で表彰されます。

なお、本事業では、全国に女性活躍推進の取組みを普及させるため、全国各地で啓発セミナーを別紙3の通り開催します。セミナーでは、女性の活躍推進に取り組む異業種の経営者等を講師とする講演、セミナー参加者同士が交流するワークショップのほか、地域によって情報交換会、現地視察を実施する予定です。開催に関する詳細は、“WAP100”に関するホームページ(アドレス：<http://hojin.or.jp/standard/100/>)でお知らせしています。

以上

※WAP100(ワップ100)とは当選定・表彰の愛称です。

選定・表彰の趣旨である「農業経営(体)における女性の積極的な参画」の英訳「Women's Active Participation in Agricultural Management」から名付けました。



(本件に関するお問い合わせ先)  
公益社団法人日本農業法人協会 <http://www.hojin.or.jp>  
政策課 岸本・古澤  
TEL : 03-6268-9500 FAX : 03-3237-6811

## 「農業の未来をつくる女性活躍経営体 100 選」(WAP 100)

## 平成 27 年度第 1 期選定経営体

(地域順)

経営体名	所在地	事業内容
有限会社柏崎青果	青森県上北郡おいらせ町	生産(にんにく)、加工・製造(ごぼう茶)
まるせん川村 青森観光りんご園	青森県青森市	生産(りんご)、消費者直売、加工・製造、観光・交流、飲食
デリシャスファーム株式会社	宮城県大崎市	生産(トマト)、消費者直売、加工・製造、観光・交流、飲食
有限会社ハーレー牧場	栃木県那須塩原市	生産(酪農)、消費者直売(駅構内売店等)
有限会社大畠畜産	埼玉県児玉郡神川町	生産(養豚)、消費者直売、観光・交流
有限会社ぶどうばたけ	山梨県甲州市	生産(ぶどう)、消費者直売、加工・製造(ワイン)
有限会社佐野ファーム	静岡県周智郡森町	生産(レタス類、トウモロコシ等)
株式会社ささら	三重県鈴鹿市	生産(茶)
有限会社池田牧場	滋賀県東近江市	生産(酪農)、消費者直売(レストラン)、加工(アイスクリーム)
株式会社みやもと農園	滋賀県近江八幡市	生産(ミニトマト、コマツナ、ブロッコリー等)
ベルグアース株式会社	愛媛県宇和島市	生産(野菜苗)
和泉農園	大分県豊後高田市	生産(ぶどう、白ネギ)
有限会社サザンガーデン	大分県玖珠郡玖珠町	生産(花き)
セブンフーズ株式会社	熊本県菊池市	生産(養豚)

## 青森県上北郡おいらせ町 (有) 柏崎青果

### 6次産業化から海外輸出まで女性社員が中心的に活躍

代表者名	柏崎 進一
設立年	1991年 3月 1日
事業内容	生産(にんにく)、加工・製造(ごぼう茶)
経営規模	田 0.3ha、畑 10.2ha、施設 1,181 m <sup>2</sup> 、加工場 1,505 m <sup>2</sup>
資本金	60 百万円
売上高	1,530 百万円(2015 年 2 月期)
従事者数	90 人(女性 73 人)



#### □女性活躍のポイント

- 社長の柏崎進一氏は、生産・加工の現場を知らなければ、現実的な開発や販売に結びつかないとの考えから、女性社員を特定の部署に専従にせず、生産から流通まで把握できるような中核的な女性社員を育成。
- 柏崎青果としての商品は約 100 種あるが、子育て、介護等の生活視点や消費者目線を活かして女性社員が開発した商品がうち 70 種ほどを数える。更に女性社員が手がけたパッケージデザインが国内・海外ともに好評。
- 国内・海外への販売促進には、常務取締役の柏崎玲子氏の営業力と消費者目線に立った説明力の効果もあり、フランスのほか世界 22 カ国のレストランに食材提供を企画し、各種食品・調味料が次々と採用。
- 従業員 90 人中女性社員が 8 割を占める。2014 年には、年間新規採用者 15 名のうち 9 名は女性を採用。また、45 歳未満の従業員が 4 割を占めており、産休・育休後の復帰が速やかにできるよう継続就業を支援。
- 女性従業員が働きやすいよう、生産部門では機械化を進め作業を軽労化。また、事務所、トイレ、休憩室をリニューアル。快適な作業環境整備により、女性社員が定着。

2015 WAP100

## 青森県青森市 まるせん川村 青森観光りんご園

### 家族が家事育児を分担し、女性の労働環境を整備

代表者名	川村 忠則
創業年	昭和 40 年頃
事業内容	生産(りんご)、消費者直売、加工・製造、観光・交流、飲食
経営規模	畑 1.3ha、樹園地 4.3ha、施設 3,200 m <sup>2</sup> 、加工場 50 m <sup>2</sup> 、直売所 50 m <sup>2</sup>
売上高	34 百万円(2014 年 12 月期)
従事者数	14 人(女性 8 人)



#### □女性活躍のポイント

- 社長の息子の川村仁氏と妻の美紀氏が 2008 年に「青森県若手農業トップランナー 1 期生」に認定されたことを契機に、美紀氏が、さらなる経営感覚を養うために各種研修会や若手農業者や異業種の交流の場に出やすいよう、家事育児を家族で分担。
- 美紀氏の若いアイディアを取り入れ、スーパーでのインショップやイベント販売で成果を発揮。
- 女性の得意分野を増やすため、農園カフェを整備。女性従業員の意見を取り入れて始めた加工体験やフルーツバイキングなど、農園オリジナルのイベントの様子を SNS を活用して発信することで、農園の知名度向上と来園者の増加に貢献。
- 商品開発は、女性従業員の「安心・安全目線」で行い、全ての加工品が離乳食に使えるように、使いやすさ、量など女性目線で実施。
- 2002 年に締結した家族経営協定を 2013 年に見直し、経営者夫婦は果樹部門と経営全般、後継者である仁氏は花卉部門、美紀氏は体験カフェ、加工販売、SNS による情報発信と担当を明確に決めたことが更なる意欲向上に。

2015 WAP100

## 宮城県大崎市 デリシャスファーム(株)

### 「女性を先頭にした経営」を実践

代表者名	今野 文隆
設立年	1998年9月7日
事業内容	生産(トマト)、消費者直売、加工・製造、観光・交流、飲食
経営規模	施設 16,776 m <sup>2</sup> 、加工場 76 m <sup>2</sup> 、直売所 181 m <sup>2</sup>
資本金	50 百万円
売上	142 百万円(2015年6月期)
従事者数	27人(女性22人)



#### □女性活躍のポイント

- 女性のアイデアを積極的に経営に取り入れる方針を明確化。
- 9年前からトマトの加工部門をスタート。新商品開発、ファームカフェのメニュー、商談会への出店などの営業活動は全て女性が担当するだけでなく、女性だけの「企画会議」を設けイベントの企画、商品開発、会員特典などを提案。
- 女性目線の商品やパッケージなど、こだわったトマト加工品の商品開発・販売により売上げが向上（加工部門立ち上げ1年目約450万円→5年目約2,000万円→9年目3,300万円）。
- 役員に女性役員（3人中2人）、正社員に女性管理職（全正社員10名のうち女性正社員8人中女性管理職4人）がおり、女性のキャリア形成のため、パートからの正社員登用、社員の適切な昇進・昇格、内部研修実施、新入社員を会議や販売会に参加させる等を実施。
- 屋内・野外トイレの設置、シャワー室・更衣室の整備、作業台の改善により女性が働きやすい環境を整備。

2015 WAP100

## 栃木県那須塩原市 (有)ハーレー牧場

### 牧場経営の重要部門を女性が担う！

代表者名	月井 美好
設立年	1998年11月9日
事業内容	生産(酪農)、消費者直売(駅構内売店等)
経営規模	田 5ha、畑 20ha、直売所 3 m <sup>2</sup> 、畜舎 6,000 m <sup>2</sup> 、 経産牛 180 頭、育成牛 70 頭
資本金	30 百万円
売上高	152 百万円(2015年7月期)
従事者数	7人(女性3人)



※登記時の法人名は「有限会社ハーレイ牧場」。

#### □女性活躍のポイント

- 社長の月井美好氏は、大手企業勤務経験を踏まえ、労務管理・福利厚生を整備し、社員が安心して働ける環境を実現。
- 社長の妻の月井千枝子氏が取締役牧場長、長女で人工授精師の月井さとみ氏が取締役に繁殖管理と搾乳、削蹄士の女性が疾病管理と削蹄と、それぞれ重要部門を女性が担当。
- 自社ブランド商品販売会社「(有)ハーレーファーム」を設立し、代表取締役に千枝子氏、取締役にさとみ氏が就任し、消費者ニーズを捉えた商品開発を実施。
- パーラー舎内に女性専用のシャワー付き浴室・更衣室・休憩室、個人用の机などを設置し、女性が働きやすい環境を整備。
- 千枝子氏は、全国畜産縦断いきいきネットワーク（畜産に従事する女性農業者のネットワーク）の設立に参加し、全国的な女性組織活動を展開中。

2015 WAP100

## 埼玉県児玉郡神川町 (有)大畠畜産

### 夫婦で育てた豚を妻が人気ブランドに

代表者名	大畠 永行
設立年	1989年3月8日
事業内容	生産(養豚)、消費者直売、観光・交流
経営規模	畑 4ha、施設 9,000 m <sup>2</sup> 、加工場 30 m <sup>2</sup> 、 畜舎 3,600 m <sup>2</sup> 、母豚 100 頭
資本金	8 百万円
売上	82 百万円(2015 年 2 月期)
従事者数	2 人(女性 1 人)



#### □女性活躍のポイント

- ゼロから始めた養豚経営の全てを妻と夫の二人で決定、「イコールパートナー」意識が明確な一戸一法人経営。
- 家族経営協定を締結し、二人の作業役割分担などを明確化。
- 元金融機関に勤めていた妻の大畠眞由美氏が豚を母親感覚で飼育する姿から、眞由美氏を農場長と経理担当部長に任命。夫の大畠永行氏は豚の育成に専念。
- 眞由美氏の発意で始めた独自ブランドの「姫豚」が、眞由美氏自身の営業努力で地方のレストラン等消費者の評価を得て安定的な需要を確保し、人気上昇。また、直接販売の拠点として「姫豚工房」を開業。定期宅配、贈答用に販路が拡大中。
- 眞由美氏は地元農業女性会議所の会員、農業委員、小学校での食育活動、全国畜産会の理事等、女性農業経営者として活躍。永行氏が妻の活動を理解し、それを支援。

2015 WAP100

## 山梨県甲州市 (有)ぶどうばたけ

### 家族の応援と自己実現により女性経営者として活躍

代表者名	三森 斉
設立年	2006年4月26日
事業内容	生産(ぶどう)、消費者直売、加工・製造(ワイン)
経営規模	樹園地 5.6ha
資本金	3 百万円
売上高	57 百万円(2014 年 11 月期)
従事者数	11 人(女性 6 人)



#### □女性活躍のポイント

- 社長の妻で取締役の三森かおり氏は、これまでの農業者としての経験と学びから、「農村社会が男性中心であり、農家の嫁達は、経営者としての自覚や経験が不十分である。」と気づき、自ら率先し、かつ家族の理解を得て、積極的に社会に参画し女性経営者として尽力。
- かおり氏の「女性達が農業の素晴らしさを深く理解し、農村で幸せに暮らすことができれば、子供達にも農業・農村の魅力が伝わり、農業従事者の増加や農村の豊かさの普及につながる」という理念に基づき、女性社員が継続して働くことができ、キャリアアップもできるよう個々の能力や性格だけでなく、家庭環境、子供の状況も経営側として丁寧に把握し、家族・家庭・地域行事などの急な用事にも対応出来るような柔軟な勤務形態を実践。
- 個々の得意分野や能力に合わせて、セミナーや加工の技術開発、先進地視察、衛生管理者取得、勉強会の参加、イベント参加などキャリアアップに必要な講習・資格などに積極的に取り組める環境を整備。
- レーズン加工を始め自社加工開発を積極的に行うことにより通年雇用による安定した職場を確保。複合的な経営を行うことで、個々の能力と経験を生かした職場作りが可能。
- かおり氏は、これまで全国や県の農業関係の経営者団体やスポーツの女性団体の役職、審議委員など、広く県内外でも活躍中。

2015 WAP100

## 静岡県周智郡森町 (有)佐野ファーム

### 女性スタッフが考える食の安全・安心重視の農場経営

代表者名	佐野 元洋
設立年	2003年5月22日
事業内容	生産(レタス類、トウモロコシ等)
経営規模	田 28ha、樹園地 0.5ha、施設 5,500㎡
資本金	3百万円
売上高	147百万円(2015年4月期)
従事者数	23人(女性9人)



#### □女性活躍のポイント

- 女性スタッフの感性や目線を活かすという方針のもと、食の安全・安心に敏感な女性に受け入れられる商品を生産。
- 顧客満足度と信頼性を高めるため、女性スタッフが主体となり、農場として有機 JAS や J-GAP の認証を取得、対外折衝や PR 業務、直売所や通販の運営、加工品開発や商品の PR 企画、食育・消費者交流を実施。
- さらに、キャリアアップのため、女性スタッフによる農建機の運転免許、農業技術検定、ベジタブル&フルーツマイスター等の資格取得を推進。
- 女性スタッフの丁寧な出荷調整作業が評価され、お客様からのご注文が毎年 100 件程度ずつ拡大中。
- 女性社員が出産育児で辞めることなく継続して働けるよう、出産・育児休暇制度を整備、育休明けの継続就業支援も実施。

2015 WAP100

## 三重県鈴鹿市 (株)ささら

### 会社の経営発展と家族の生活満足度を共に実現

代表者名	大野 博司
設立年	2006年1月11日
事業内容	生産(茶)
経営規模	畑 16ha、施設 9,561㎡、加工場 3,900㎡
資本金	12百万円
売上高	242百万円(2014年12月期)
従事者数	8人(女性3人)



#### □女性活躍のポイント

- 3戸の3夫婦で法人を設立し、更に3戸それぞれで個々の「農業人」、「家庭人」、「市民」としての役割ややりがいを丁寧に話し合っており、家族経営協定を締結している。これにより、法人経営の発展と構成する3家族の生活の満足度を両立。
- 子育て中の地域女性がグループで託児分担、労働時間などを調整し仕事をする「コラボワーク」を地域の NPO 法人との連携により実現。
- 女性管理職は地域振興の会や地域の女性組織における役員、三重県の農村女性アドバイザーなど、対外的に活躍しており、それが可能となる経営形態を実現。
- 茶工場見学、イベント出展、消費者交流会は、主に女性管理職が担っており、伊勢茶の認知度の向上、消費者と触れ合うことで様々な意見やニーズを知り、茶経営に活用。

2015 WAP100

## 滋賀県東近江市 (有)池田牧場

### 6次産業化ビジネスモデルの女性先駆者

代表者名	池田 義昭
設立年	1998年7月
事業内容	生産(酪農)、消費者直売(レストラン)、加工(アイスクリーム)
経営規模	田 0.81ha、施設 87,000㎡、加工場 105㎡、直売所 300㎡、 畜舎 600㎡、経産牛 50頭
資本金	10百万円
売上高	170百万円(2015年2月期)
従事者数	26人(女性18人)



#### □女性活躍のポイント

- 原乳の生産調整により、原乳を捨てる日々が続く中、代表者の妻で専務取締役の池田喜久子氏が乳製品加工を思い立ち、販売等の経験の無い中、自ら資金の捻出・保健所の対応、販売方法・キャッチフレーズ等を模索・実践し、アイスクリーム製造販売を1997年にスタート。加工部門立ち上げ2年目で加工販売部門の収益が生産部門の収益を上回った(1年目:加工3,900万円・生産4,500万円→2年目:加工5,100万円・生産4,500万円)。
- 2003年に女性スタッフ6名で立ち上げた農家レストランは、地域の獣害の原因となる鹿をジビエ料理として提供したり、地元産の岩魚や野菜と自社生乳を使った料理が地産地消で評判となり、売上げに貢献。
- 酪農部門以外はほぼ女性のため、女性でも持ち運びができるように小ロットにしたり、ワークライフバランスを考えた効率のよい仕事ができるよう社員一同で何事にも協力しあう体制を整備。
- 会社として地産地消、地域活性化、女性の社会参画・経営参画推進など、社会貢献活動に取組み、その結果、法人化12年目にして滋賀県CSR経営大賞を受賞。

2015 WAP100

## 滋賀県近江八幡市 (株)みやもと農園

### 女性のきめ細かい経営手腕でスタッフがキャリアアップ

代表者名	宮本 圭一郎
創業年	2011年4月1日
事業内容	生産(ミニトマト、コマツナ、ブロッコリー等)
経営規模	畑 1.5ha、施設 6,600㎡
資本金	0.2百万円
売上高	31百万円(2015年3月期)
従事者数	4人(女性3人)



#### □女性活躍のポイント

- 取締役の片岡恵子氏は、14年前にパート社員として入社後、子育てから徐々に手が離れるに伴い、栽培管理という責任ある仕事を任せられ、正社員登用を経て、野菜に対する観察力や作業の段取り力、のみならず新人の指導や資格(日商簿記検定1級)を活かした経営的提案等が評価されて役員に登用。
- 新人の栽培管理担当女性スタッフにも担当部門を任せ、チャレンジする機会を与え、責任を持ち作業を行うことが社員の成長に寄与。また、担当したハウスキュウリは、2作目の夏秋作で県の指標の3割増収し、食味も好評。
- キャリアアップのための農業技術検定や野菜ソムリエ、簿記、EXCEL等の受験費用やテキスト購入補助を実施。又、資格合格者には資格手当を給与に上乗せ。
- 女性が栽培作業を担当するために、椅子付き収穫台車の導入、栽培品目を軽量なものに変更するなど重労働軽減を推進。
- 個々の体面、ライフスタイルにあわせて適切な休日数を自ら選択。
- 休憩室、ロッカー、水洗トイレといった女性が働きやすい環境を整備。
- 女性社員の発案により、消費者・生活者視線でのレシピカードや農園だよりをつくり、商品に添付することで、法人や商品に対する理解の増進に寄与。

2015 WAP100

## 愛媛県宇和島市 ベルグアース(株)

分業体制により女性が安心して長期間働き活躍できる領域を拡大

代表者名	山口 一彦
設立年	2001年1月18日
事業内容	生産(野菜苗)
経営規模	施設 99,000 m <sup>2</sup>
資本金	331 百万円
売上高	4,028 百万円(2014年10月期)
従事者数	283人(女性 169人)



### □女性活躍のポイント

- 社員の6割(169人)が女性社員。
- 産後も継続雇用が出来る職場環境、出産育児休暇取得後に継続就業できるよう短時間勤務、残業ゼロ、育児と仕事が両立できるよう状況によっては部署変更を実施。その結果、出産育児による退職が5年間でゼロ、複数の方が2人目を出産。
- キャリアアップのため、男女ともに管理職研修、通信教育を定期実施。
- 女性の管理職割合が群を抜いている(部長～主任の男女比は6対4)。接木課は53名中98%が女性であり、課長も女性。
- 労災保険、雇用保険、健康保険、厚生年金に加入し、中小企業退職金共済、全ての部門で超過勤務手当の残業割増を適用するなど、安心して長期間安定して働ける労働環境を整備。社員は、65歳定年、元気であれば70歳まで再雇用も奨励。
- 圃場各所へのトイレ設置、休憩室、広い食堂等、女性が働きやすい労働環境の整備。

2015 WAP100

## 大分県豊後高田市 和泉農園

家族経営協定で2世代夫婦が快適で楽しい経営を実現

代表者名	和泉 陣
創業年	明治時代初期ごろ
事業内容	生産(ぶどう、白ネギ)
経営規模	畑 3ha、樹園地 1.8ha
売上高	36 百万円(2014年12月期)
従事者数	5人(女性 2人)



### □女性活躍のポイント

- 現経営者の母和泉やす子氏が、地域の女性農業経営士会、生活研究グループなどの女性組織の一員となり各種研修で学び、農業経営と農家生活の知識・技術を確実に経営と生活に活用。
- 営農生活設計書を作成し、労働時間の分析に基づく効率的な作業、収益確保を実現。1996年に夫婦間で家族経営協定を締結。
- 次男の就農、次男夫婦の就農とその都度協定を見直し、夫が65歳の時に計画通り次男夫婦に経営移譲。家族経営協定を有効に活用し、家族全員が快適に楽しく経営できる体制を実践。
- やす子氏を中心とした取組みは、各方面から注目され、講演の依頼も多く家族経営協定の普及推進に寄与。
- 玉津まちの駅「夢むすび」の管理責任者として常温保存可能なお節料理など商品開発も実施。
- 2006年には念願の農家民泊の営業を開始し代表を務める。
- やす子氏は、大分県生活研究グループ連絡協議会会長、など県内で広く活動しており、現在は地元女性集団会長として地域をまとめながら、女性農業委員として活躍中。

2015 WAP100



## 大分県玖珠郡玖珠町 (有)サザンガーデン

### 女性専務の的確な経営が支える鉢花経営

代表者名	穴井 重利
創業年	2002年8月2日
事業内容	生産(花き)
経営規模	施設 9,240 m <sup>2</sup>
資本金	3百万円
売上高	66百万円(2014年6月期)
従事者数	13人(女性9人)



#### □女性活躍のポイント

- これまでの家族経営から法人経営への転換に向け、穴井記代美氏は、経営主の夫とともに法人化のための研修を受講し、法人を設立。
- 記代美氏は、栽培管理・経理部門を担当し、経営指標や女性従業員からの管理作業上の問題点を把握し、それらを経営改善項目として栽培管理の見直しなどを実践。市場要望や商品のだぶつきを回避するためには、女性従業員のきめ細かな栽培管理、迅速な対応が重要との考えの下、品目毎の生産費の把握や販売データの分析を生産計画に活用し、売り上げが向上（2004年5,500万円→2014年6,700万円）
- 当初より底面給水方式を取り入れ、作業台を女性の働きやすい高さにするなど、女性労働力を念頭においた作業環境の整備、休憩室、トイレ等の整備、地域の女性が働きやすい農閑期の季節雇用やフレックス勤務対応を実施。
- 記代美氏は、大分県女性農業経営士講座の受講、家族経営協定の締結、女性農業経営士会の立ち上げや会長を歴任するなど、地域の女性リーダーとして活躍。

2015 WAP100

## 熊本県菊池市 セブンフーズ(株)

### 女性社長のリーダーシップで男女ともに快適な労働環境を整備

代表者名	前田 佳良子
設立年	1992年10月
事業内容	生産(養豚)
経営規模	畑 8ha、畜舎 30,000 m <sup>2</sup> 、母豚 2,100 頭
資本金	22百万円
売上高	2,078百万円(2015年5月期)
従事者数	78人(女性11人)



#### □女性活躍のポイント

- 畜産業経営では力仕事や重機に乗る機会が多く男性中心の組織づくりになっていたこともあり、3年前に女性社員が相次いで退職。それを契機に、社長の前田佳良子氏の意識改革により、男性主体の経営を転換。
- 売上げ、社員とも規模の大きな会社にあって、女性社長と社員双方がそれぞれの経営哲学と考えを尊重することができる能動的な会社組織を実現。
- 男性中心だった社外研修に「女性研修枠」を設け、女性が優先的に学べる環境を整備。
- 出産・育児を契機とした離職防止及び仕事と子育ての両立が出来るよう、ワークライフバランス制度を導入。
- 経営に大きな影響を及ぼす豚の分娩、飼育が女性社員ならではの細やかな飼育管理により、生産成績の安定と向上に寄与。
- 休憩室、シャワー室、屋内・野外トイレの設置など女性が働きやすい環境を整備。

2015 WAP100

## 「農業の未来をつくる女性活躍経営体 100 選」(WAP 100)

## 審査委員名簿

(敬称略)

	氏名	所属・役職
委員長	上村 協子	東京家政学院大学 教授
委員	青山 浩子	農業ジャーナリスト 公益社団法人日本農業法人協会理事
	鈴木 泰子	鈴木泰子社会労務士事務所 代表 全国農業支援ネットワーク会員
	西山 由美子	にしやまゆみこ税理士事務所 一般社団法人全国農業経営コンサルタント協会 会員
	深沼 光	株式会社日本政策金融公庫総合研究所 主席研究員
	増田 篤	株式会社時事通信社 デジタル農業誌 Agrio 編集長
	松澤 一美	東日本旅客鉄道株式会社 人事部 ダイバーシティ推進グループ 課長
	松本 春枝	日本放送協会 人事局 ワーク・ライフ・バランス推進事務局長
	横田 響子	株式会社コラボラボ(女性社長.net 企画運営)代表取締役

## 「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選」 啓発セミナー 開催要領

### 1. 趣旨

農業の未来をつくる女性活躍経営体100選(WAP100)では、女性活躍に向けて先進的な取り組みを実践している農業経営体を選定・表彰をおこない、広く世の中に、女性が活躍する農業経営体を紹介し、女性活躍促進のトレンドを情報発信することとしています。

この取り組みを普及・拡大させていくために、先進的な取り組みを実践している異業種企業経営者等による講演、WAP100受賞者による事例の報告、参加者とともに女性が活躍する職場の理想と現状を考えるワークショップにより、具体的な女性活躍の方策を検討・実施するきっかけとして啓発セミナーを開催します。

なお、当事業は農林水産省の補助事業として実施します。

### 2. 日程・会場概要(詳細は各回プログラムをご確認ください。)

地域	日程	開催地	基調講演	現地視察
北海道	1月下旬	帯広市	調整中	
東北	11月17日～18日	仙台市	(株)佐藤金属	テリシヤスファーム(株)
	12月3日	天童市	(株)マイスター	
関東	12月8日～9日	宇都宮市	フジコーポレーション(株)	(有)ハレー牧場
東海	1月12日～13日	浜松市	(株)ラッシュ・インターナショナル	(有)佐野ファーム
北信越	調整中			
近畿	1月14日～15日	草津市	カビエ(株)	(有)池田牧場 (株)みやもと農園
	1月7日	姫路市	(株)エス・アイ	
中国	1月26日	島根県内	(有)ゼムケンサービス	
四国	11月19日～20日	松山市	重松建設(株)	ベルグアース(株)
九州	1月6日	福岡市	(有)ゼムケンサービス	

※プログラムはWAP100ホームページ(<http://hojin.or.jp/standard/100/>)でご確認ください。

### ○基本プログラム(開催地によって一部のプログラムが前後します。)

#### 第1部 基調講演・意見交換(11:00～12:30)

ダイバーシティ経営企業100選(経済産業省)を受賞し、女性の活躍推進に取り組む企業から講師を招いて、異業種における先進的な取組を学びます。

#### 第2部 取組事例報告(13:30～14:00)

WAP100受賞者や審査委員を招いて、受賞につながった取組事例を報告します。

#### 第3部 ワークショップ(14:10～17:00)

参加者の関心を把握し、数名程度のグループを設定するなど。女性活躍推進の必要性を再確認したのち、男女がともに活躍できる組織をつくるための心構えとコミュニケーションスキルの習得を目指します。

#### 第4部 現地視察(開催地によって設定します。)

WAP100受賞経営体や異業種先進経営体における取組現場を訪問します。集合場所から移動に必要な手段は主催者が用意いたします。

### 3. 対象者

農業経営体 経営者・従業員等（法人・個人、男女を問わず。定員 50 名。）

※申込先着順で受付し、定員を超えた場合はご希望に沿えない場合があります。

### 4. 申込方法

開催回毎のプログラムをご確認の上、所定の申込用紙に必要事項を記入の上、メールまたは FAX でお申込み下さい。

申込用紙は WAP100 ホームページ (<http://hojin.or.jp/standard/100/>) から入手して下さい。

申込先：(公社) 日本農業法人協会 政策課

メール：furusawa@hojin.or.jp FAX：03-3237-6811

### 5. 主催：公益社団法人日本農業法人協会

協力：農山漁村男女共同参画推進協議会

後援：農林水産省、内閣府男女共同参画局

### 6. お問い合わせ・申込（事務局）

公益社団法人日本農業法人協会 政策課 岸本・古澤

102-0084 東京都千代田区二番町 9-8 中央労働基準協会ビル 1 階

TEL：03-6268-9500、FAX：03-3237-6811